



いわき市

市長記者会見

令和4年4月19日



いわき市

案件

いわき市防災マップ、
いわき市津波ハザードマップの改訂について



「逃げ遅れゼロ」「災害死ゼロ」を目指して

次のハザードマップを改訂しました

◎自然災害に関する情報を総合的にまとめた

「いわき市防災マップ」

◎津波災害の情報に特化した

「いわき市津波ハザードマップ」

主な改訂内容

		現在	改訂後
作成	防災マップ	平成27年 4月	令和4年3月
	津波ハザードマップ	平成26年11月	令和4年3月
地形図		東日本大震災前に発行された地形図	最新の都市計画図や国土地理院地図を採用し、区画整理等の復興事業等を反映した地形図
河川洪水浸水想定		50年から70年に1回程度の大雨	1,000年に1回程度の大雨（想定し得る最大規模）
津波浸水想定		市独自に実施した、津波シミュレーション結果	平成31年3月公表の「福島県津波浸水想定」
土砂災害警戒区域等		平成26年3月までに県が指定した箇所を反映	令和3年10月までに県が指定した箇所を反映
学習面		<ul style="list-style-type: none"> (1) テレビ、インターネット、防災行政無線など様々な媒体からの情報収集の方法 (2) 災害事象ごとの特徴と避難の際の注意事項 (3) 避難情報の種類と避難時の地域での助け合い (4) 災害用伝言サービスなどの家族との連絡方法 (5) 非常持出品などの日ごろの備え 	<p>これまでの内容に加えて</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 水平避難や垂直避難など、命を守るために取るべき避難行動や災害の特徴に応じた避難時の注意点に関する内容の充実 (2) スマートフォンの普及を踏まえ、主要な防災情報サイトに繋がるQRコード掲載の充実

いわき市防災マップ

いわき市 防災マップ

災害から
“自分の命、
大切な人の命”
を守るために

保存版
令和4年3月作成

最新の災害情報
避難施設情報掲載

平地区

大雨・洪水 地震・津波 土砂災害

自分と家族の身は
自分たちで守る
じじよ

自助

逃げ遅れをゼロをめざして

地域みんなで
助け合う
きょうじよ

共助

行政機関の
公的支援
こうじよ

公助

④ 防災マップとは？
このマップは、津波ハザードマップや河川洪水ハザードマップのほか、土砂災害警戒区域に関する情報などを地区ごとにまとめたものです。
マップを見やすいところに貼り、自宅の災害リスクや近所の避難所・避難場所、避難経路の把握をしましょう。
※ 避難所とは、災害時に一定期間滞在する（生活する）ことを前提とした施設
避難場所とは、災害時に一時的に避難する施設のこと

わが家の災害リスクは？
マップをみて確認しましょう！

☐ 土砂災害 ☐ 津波の浸水 ☐ 河川の洪水

※ one point
わが家に災害リスクがあったら、一緒に近くの避難所や避難場所、安全な知人宅もチェックしておきましょう

いわき市

1 特徴	自然災害に関する情報を総合的に掲載
2 配布開始時期	令和4年5月 中旬
3 配布方法と場所	<ul style="list-style-type: none"> ・回覧板(世帯配布) ・市役所(本庁舎及び支所)の窓口等 ・市公式ホームページで閲覧、ダウンロード
4 作成地域	<p>13地区</p> <p>(平、小名浜、勿来、常磐、内郷、四倉、遠野、小川、好間、三和、田人、川前及び久之浜・大久)</p>
5 作成部数	<p>166,000部</p> <p>(世帯配布 約112,000部、窓口等 約 54,000部)</p>
6 主な掲載情報	<p>【災害情報】</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 河川洪水浸水想定区域 ② 津波浸水想定区域 ③ 土砂災害警戒区域等(土砂災害危険箇所含む) <p>【避難施設】</p> <p>一時避難場所、津波避難場所、津波避難ビル、広域避難場所、避難所</p> <p>【その他施設】</p> <p>市関係機関、消防署、警察署、病院など</p>

いわき市津波ハザードマップ

いわき市

保存版
 令和4年3月作成
分かる場所に置いてください

津波

⑤

ハザードマップ

※裏面をご覧ください



小名浜港（いわき市撮影）

いわき市は太平洋に面した約60kmの海岸線を有しています。海は漁港、国際貿易港、海水浴場、景勝地などを形成し、私たちの暮らしを豊かにする一方、平成23年3月11日に本市を襲った「東北地方太平洋沖地震」に伴う巨大津波は多くの尊い命や財産を奪いました。

この津波ハザードマップは、津波発生時の避難の目安となるように、津波の浸水想定域、浸水想定深、津波避難場所などの情報を示しています。

津波から身を守るためには「**すぐ**」「**高いところ**」に避難することが大切です。事前に避難場所や避難経路などを確認しておきましょう。

マップを最終見たら
最寄りの
避難場所を記入しましょう。

家族が全員一緒に避難できるとは限りません。
家族の集合場所を決めましょう。

津波ハザードマップは
いわき市ホームページでも公開しています。

ダウンロードなどはこちらから

<http://www.city-iwaki.lg.jp/news/contents/0010000147/index.html>

他にも様々な防災情報をお知らせしています。



掲載している地区

小名浜地区

小名浜、小名浜間小名、小名浜大原、小名浜尾、小名浜住吉、小名浜南置岡、泉町滝尻、泉町下川、泉町本谷

いわき市

1 特徴	津波災害の情報に特化
2 配布開始時期	令和4年5月 下旬
3 配布方法等	<ul style="list-style-type: none"> ・回覧板(沿岸の対象世帯) ・市役所(本庁舎及び支所)の窓口等 ・市公式ホームページで閲覧、ダウンロード
4 作成地域	沿岸5地区(平、小名浜、勿来、四倉、久之浜・大久) 7種類(①久之浜・大久、②四倉・平北部、③平南部、④小名浜東部、⑤小名浜西部、⑥勿来北部、⑦勿来南部)
5 作成部数	50,000部 (世帯配布 約27,000部、窓口等 約23,000部)
6 主な掲載情報	<p>【災害情報】</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 津波浸水想定区域 ② 東日本大震災(3.11)津波浸水区域 <p>【避難施設】</p> <p>津波避難場所、津波避難ビル、 (津波対応の)避難所</p> <p>【その他施設】</p> <p>防災行政無線</p>



「逃げ遅れゼロ」「災害死ゼロ」のために

市民の皆様へ

ハザードマップを使って、3つの確認を

確認1 地図で地域の中にある災害リスクを確認

→自宅や職場などにどんな災害リスクがあるか地図面を見て確認しましょう。

確認2 災害から命を守るための避難方法を確認

→災害時の避難場所や避難方法を確認しましょう。避難の選択肢を増やすことも大切です。

確認3 防災情報の入手方法や日ごろの備えを確認

→備蓄品や非常持出品の準備をして日頃から災害に備えましょう。家族との連絡手段も確認しましょう。



自分の命、大切な人の命を守るために最も大切な**自助**への取り組みをお願いします